

ウソのない政治、暮らし第一の政治へ 憲法を変えるな、政治を変えよう

厚生労働省の毎月勤労統計、国の政策づくりの土台になる調査の不正が明らかになりました。森友・加計疑惑、公文書改ざん、裁量労働制のデータねつ造、防衛省の日報隠し…、ウソだらけの政治は、もうゴメンです。ウソのない、あたりまえの政治に変えましょう。

国民の命と暮らしを削って、アメリカ兵器を爆買いする安倍政権にNO!

アメリカ兵器を次々と購入して、「専守防衛」の自衛隊から、攻撃能力をもつ実戦部隊へ。「中期防衛力整備計画」は、2019年～23年の5年間で過去最大の27兆4700億円の軍事費を計上しました。護衛艦「いずも」を「攻撃型空母」に改修し、F35ステルス戦闘機を合計147機調達するなどムチャクチャです。その費用は、もちろん国民の税金です。「北朝鮮の脅威」もなくなりつつあるのに、いま軍拡が必要でしょうか？

安倍政権は、一方で社会保障予算を削減し、10月には消費税10%増税をねらっています。国民の命と暮らしを削り、税金でアメリカ兵器を「爆買い」する政治はゴメンです。

国民は、「9条改憲」を望んでいません

安倍首相は、「改憲」に執念を燃やしています。でも、国民が一番力を入れてほしい政策は、第一に社会保障、第二に景気・雇用対策、第三に地方活性化です。どの世論調査でも、国民は改憲など望んでいません。とりわけ、「9条改憲反対」は多数派です。「戦争はイヤだ」、これが国民の声だからです。

安倍首相は、「戦争法（安保関連法）」にもとづいて、海外で武力行使をする自衛隊を、憲法9条に書き加えようとしています。それは、憲法9条を空文化させて「戦争する自衛隊」を憲法で認め、日本を「戦争する国」に変えるということです。

命を救うために災害救助でがんばる自衛隊員を“殺し殺される戦場”に送ってよいのでしょうか？「戦争しない平和な国」を「戦争する国」にしてよいのでしょうか？



沖縄の声を聞いてください 辺野古新基地建設中止を

「辺野古に基地はつくらせない」という沖縄の民意をふみにじり、ジュゴンのすむサンゴ礁の美しい辺野古の海に赤土を含む土砂投入が続けられています。地方自治も民主主義も無視した工事強行は許されません。ただちに工事は中止すべきです。

沖縄では、米軍機の騒音や墜落事故、繰り返される米兵の事件など、「基地あるが故の苦しみ」がつづいています。この苦しみを孫・ひ孫の代まで押しつけてはなりません。

2月24日、沖縄県民投票が行われます。「沖縄のことはウチナーンチュ（沖縄県民）が決める！」 民意を尊重して、工事は直ちに中止すべきです。

3000万人署名で「改憲NO!」の声を広げよう